

第2部 - 第2 都市型農業の育成

まちづくり指標

協働指標	計画策定時の状況 (平成12年)	前期実績値 (平成15年)	中期実績値 (平成18年)	目標値 (平成22年)
経営耕地面積	219.81ha	194.11ha	182.37ha	維持
農業人口	1,676人		1,098人 (平成17年)	維持

農地の保全と農業従事者数を示す指標です。経営耕地面積は平成15年には194.11haあり、その維持をめざしましたが、平成18年度末現在は182.37haで11.74haの減少となっています。また、農業従事者の高齢化や後継者不足などにより、農業人口の減少が続いています。農のあるまちづくりを共に推進し、農地が極力保全されるよう努めます。注：農業人口は、平成17年農林業センサス(5年毎の調査)の結果による。

協働指標	計画策定時の状況 (平成12年)	前期実績値 (平成15年)	中期実績値 (平成17年)	目標値 (平成22年)
主要生産物の生産高	1,425t	1,198t	1,117t	維持

主要生産物(カリフラワー、ブロッコリー、キャベツ、ばれいしょ、ホウレンソウ)の生産高により、農業振興状況を表す指標です。JAや関係団体と協力し、都市周辺という地理的優位性を活かした市街地農業の振興を図ります。

施策・主な事業の体系

1 都市型農業の計画的な育成

(1)「農業振興計画(改定)」の推進	「農業振興計画(改定)」の推進
--------------------	-----------------

2 農地の保全と利用の推進

(1)生活環境と調和した農地の保全	生産緑地の計画的な保全と整備の推進
	三鷹市優良農地育成事業の充実
	農地の保全・整備手法の検討 (第3部 第2「緑と水の快適空間の創造」参照)
	土地税制・生産緑地制度に関する国等への要請
(2)農地の多面的機能の活用	防災機能の拡充
	景観形成と環境の保全

3 魅力ある都市型農業の育成

(1)環境保全型農業の推進	有機肥料や低農薬農業の支援
	エコ野菜地域循環事業の推進 (「第4部 - 第2資源循環型ごみ処理の推進」参照)
	堆肥の生産・流通・供給体制確立の支援
	農地の土壌診断等の支援
(2)農業経営の改善	農産物ブランド化の支援
	認定農業者制度の普及促進
	農業経営合理化の支援
(3)担い手の育成	援農ボランティア等の支援
	研修・交流活動の支援
(4)流通・販売機能強化の支援	緑化センターの充実の要請
	契約生産・販売の支援
	直接販売事業の支援
	情報提供の充実の支援
(5)新たな都市農地・農業保全策の検討・推進	新たな都市農地・農業保全策の検討・推進

4 地域との交流促進

(1) 農業公園の運営	農業公園の運営・利用促進
(2) 交流事業の推進	農業祭の活用
	講習会・交流会事業の支援
(3) 農業体験の推進	市民農園・学校農園等の充実
	体験農園の支援
	新たな都市農園の検討
(4) 農のある風景の保全	緑と水の回遊ルートと整合した農地等の活用

5 推進体制の整備

(1) 組織体制の強化	関係団体・NPO等との連携の強化
	農業者・市民・関係団体との懇談会の開催

主要事業(で示しています:事業内容は、追加・変更のあったもののみ記載)

3 - (1) - 有機肥料や低農薬農業の支援

4 - (1) - 農業公園の運営・利用促進

3 - (4) - 緑化センターの充実の要請

市民が農業と緑について学び、触れ、親しみ相互に交流する場として開設された農業公園の運営については、市民公募を含めた農業公園運営懇談会において市民と協働で進めています。

農業公園の実習農園、ガーデニングエリア、自由広場等において、野菜づくり講習会やガーデニング、農作物生産の実習体験などを進めるとともに、体験農園を含め農業公園が農業体験の場や次代を担う子ども達への教育実践の場となるよう活用を促進いたします。

また、農業公園内の緑化センターについて、緑化推進の拠点として販売・交流機能等の充実が図られるよう引き続き要請します。
(市民・事業者・関係団体・市)

新規・拡充事業(で示しています:事業内容は、追加・変更のあったもののみ記載)

3 - (1) - 堆肥の生産・流通・供給体制確立の支援

3 - (2) - 農産物ブランド化の支援

3 - (2) - 認定農業者制度の普及促進

三鷹市の農業者に合う都市型農業を推進するため、農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者制度の導入についての取り組みを進めます。
(市・関係団体・事業者)

3 - (3) - 援農ボランティア等の支援

3 - (4) - 契約生産・販売の支援

3 - (5) - 新たな都市農地・農業保全策の検討・推進

市民の「共有財産」である三鷹市の農地・農業を残すため、平成 18・19 年度の両年度に実施する三鷹市都市農業研究会の検討結果を反映した取組みを JA 東京むさしと連携しながら推進します。

(事業者・関係団体・市民・市)

4 - (3) - 市民農園・学校農園等の充実

4 - (4) - 緑と水の回遊ルートと整合した農地等の活用